

遮水シート損傷部位の補修に関する見解

2010年12月27日

太陽工業株式会社

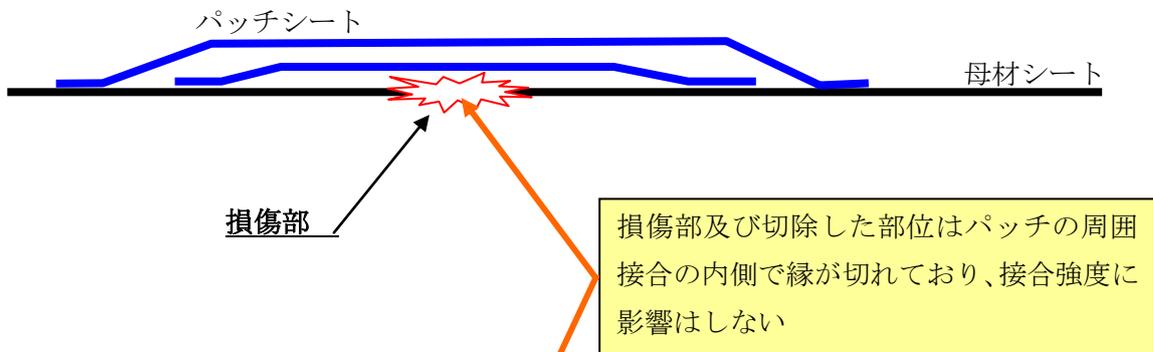
国土環境エンジニアリングカンパニー

技術開発部 環境技術課

1、補修方法

遮水シート損傷部の補修方法としては、母材の遮水シートと同質のパッチを貼り付けて補修する方法となります。その際には、シート損傷部位を完全に覆うようにパッチを貼ることが重要であり、手動式熱融着機による接合では損傷部より5cm程度以上大きめのパッチ補修となる。通常は損傷部をそのままに上からパッチを貼り合わせる。特にシート固定工等が近接している場合には、損傷部を除去してしまうとスペース不足で貼れないことがあるので、そのまま覆い被せて補修する。また、損傷部を切除してパッチ補修しても補修全体の品質（遮水性、強度等）は変わりません。今回、シート固定工が近接していたため、そのまま覆い被せて補修した。

① 損傷部をそのままにパッチを貼り付けた場合



② 損傷部を切除してパッチを貼り付けた場合



※本施設のシート補修に関しては、更なる安全性確保のためパッチ補修は2重で対応しています。

以上